

【乙部町】 校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. 次世代の校務デジタル化

本町の小中学校では、現在校務支援システムは未導入であり、教職員の負担軽減や校務効率化できる環境を構築するため、統合型校務支援システムの導入について検討を進める。

2. クラウドツールの活用

現在の校務用データは、オンプレミスで運用している校内に設置しているサーバーで活用しており、学習系と校務系のデータ連携が困難な状況である。

今後、教職員の働き方や学校現場における課題・ニーズ等の情報共有を行い、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況に留意しつつ、クラウドサービスを活用した次世代の校務システムへ移行できるよう検討を進める。

3. 押印・FAXの見直し

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部で保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境による校務DX化を阻害していることが指摘されている。

また、FAXは災害やネットワークの不具合等の緊急の場合のみの利用とし、押印・FAXの原則廃止に向けて、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、見直しをもとめるなど、継続的に働きかけを行う。